

南あわじ市 平成 20 年度 事務事業評価シート  新規  継続

( 事業 委託 補助用 )

## I 基本事項

整理番号 1051

事業名	小中学校通学バス運行委託		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	教育部	教育総務課		款	教育費・10款
電話	0799 - 37 - 3017			項	教育総務費・1項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)		目	教育振興費・3目
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	安らぎづくり__元気あふれ__住んで快適なまちづくり__			
	まちづくりの目標	子どもを産みたい__育てたいまち(子育て)			
	施策目標	子どもや要介護者をもつ共働き夫婦などが、安心して生活できるよう、地域全体で支える			
該当する事業について「 」を選択		施策的事業	業務委託	負担金補助	

## II Plan (計画、事業内容、事業背景)

事業概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人に)	
		辰美・灘小学校及び南淡中学校への遠距離通学児童生徒	対象人数(人) 213
		意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入)	
		学校統合等により遠距離通学しなければならない児童生徒及び保護者の負担軽減と通学の安全性を確保するため、スクールバスを運行している。	
実施内容	(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか)		
	<p>辰美小学校分については、登校時に5台のバスを旧小学校区に配備し、下校時には低学年と高学年では下校時間が異なるため3～4台のバスを往復させ下校させている。</p> <p>灘小学校分は、全登校便と下校の週1便は市が「へき地児童生徒援助費等補助金」で購入したバスを南淡中学校の用務員が運転運行しており、下校のうち週4便は業務委託したバスを運行させている。</p> <p>南淡中学校分は、校区内の遠距離通学区域(6km以上)から通学し且つ遠距離通学費補助金の交付を受けていない生徒を、灘来川からと灘仁頃・阿万からの2ルートで登校時に各1便、下校時には部活動等の関係もあるため時間差を設け各1便と周回ルート1便を運行している。</p>		
背景、委託根拠	(どのような現状・課題・要望があったか、また委託に至った根拠、他の自治体の動向)		
	<p>辰美小学校については、辰美中学校区の4校が統合し平成17年度に旧津井小学校区内に開校したが、他の3校区からの通学距離が6～11kmと非常に長くなったこと、公共交通機関と登下校時間が合わないことからスクールバスを運行している。</p> <p>灘小学校については、授業が早く終わる水曜日については南淡中学校の用務員が運転運行していますが、それ以外の週4日は業務委託したスクールバスを運行している。</p> <p>南淡中学校についても、統合時に校区内の遠距離通学区域(6km以上)から通学し、遠距離通学費補助金の交付を受けていない生徒の安全性の確保と保護者の各種負担を軽減するために、スクールバスを運行せざるを得なかった。</p>		
事業実施主体	<input type="checkbox"/> 市直営	<input checked="" type="checkbox"/> 民間・その他 ( )	
事業期間	<input type="checkbox"/> 平成	年度 ~ 平成	年度 <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯)		
	<input type="checkbox"/> 旧緑町 <input type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から 辰美小学校分については、合併後の開校以来運行している。 灘小学校及び南淡中学校のスクールバスについては、合併以前から20年以上運行している。		

## Ⅲ Do (事業活動・成果、投入資源・コスト)

「実施内容」により得られる活動結果指標 (アウトプット)	指標名	通学バス運行回数	指標単位 便			
	指標説明 (指標算出方法等)	辰美・灘小学校、南淡中学校の通学バス運行回数(年間)				
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
	目標値	3,802	3,366	4,428	4,428	
	実績値	3,802	3,408			
	達成度 (%)	100.0	101.2	-	-	
	目標値設定の考え方	各学校の通学バス運行委託契約に基づいた便数の合計				
アウトプットにより達成される「目的」に対する事業の成果指標 (アウトカム)	指標名	通学バス利用人数	指標単位 人			
	指標説明 (指標算出方法等)	辰美・灘小学校、南淡中学校の通学バス乗車対象者のうち実際に通学バスを利用している人数				
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
	目標値	219	196	213	190	
	実績値	164	143	169		
	達成度 (%)	74.9	73.0	79.3	-	
	目標値設定の考え方	通学バス乗車対象者				
資源配分 (インプット)		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
	直接事業費 (千円)	30,305	23,947	30,692	31,244	
	バス運行委託料	30,305	23,947	30,692	31,244	
	財源 (千円)					
	国	4,791	5,296	4,700	4,700	
	県					
	起債					
	その他					
	一般財源[A]	25,514	18,651	25,992	26,544	
	人件費(正規職員)[B] (千円)	0	0	0	0	
	平均人件費(1日当り)	29.9	30.1	27.9	27.9	
	事業量1(事業に要した日数)					
	事業量2(事業に要した人数)					
年間経費([A]+[B])	25,514	18,651	25,992	26,544		
「目的」対象人数1人当り経費 (千円)	119.8	87.6	122.0	124.6		
受益者人数(169)1人当り経費(千円)	151.0	110.4	153.8	157.1		
経費に関する補足説明	へき地児童生徒援助費等補助金として平成18年度より5年間辰美小学校分として国庫補助がある。					

## IV Check (事業の自己評価・一次評価)

	単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
達成度	活動結果指標目標達成度	%	100.0	101.2	-	-
	(アウトプットの達成度分析、問題点・課題などを記入。) 各校とも、運行計画のとおり実施されている。					自己評価 (5点評価) <b>3</b>
有効性	成果指標目標達成度	%	74.9	73.0	79.3	-
	成果向上率	%	14.7	12.8	18.2	-
	(事業実施による目的に対しての有効性分析、問題点・課題などを記入。) 運行経路から外れている生徒、クラブ活動等で時間の合わない児童生徒が利用していないが、できるだけ利用してもらえよう、運行経路及び発着時間等の調整をしている。					自己評価 (5点評価) <b>4</b>
効率性	活動実績1単位当り経費	千円	6.7	5.5	-	-
	効率性増減率	%	13.1	18.4	-	-
	(効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。) 通学バス1便当たり経費が表示されている。 通学バスの運行委託契約では、ルート毎に1便当たりの単価契約をおこなっているの で、学校行事等に合わせて臨機に対応することができている。					自己評価 (5点評価) <b>3</b>
必要性	公共性の高低	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 市立学校へ通学する児童生徒の通学手段を確保するための事業であるので、市で行うべきである。また、通学バスを運行することにより、遠距離通学による本人及び保護者の負担が軽減されている。他に、最近児童生徒に対する凶悪事件が多発しており過疎化に伴い周囲の目が減っているため、通学バスで登下校させることにより安全性を確保できている。					自己評価 (5点評価) <b>4</b>
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 通学バスを運行することで、児童生徒及び保護者の通学に対する負担を軽減できており、登下校にかかる親の不安の解消にも寄与している。					<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>評価グラフ</p> </div>

## V Action&amp;Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成21年度にできる改善・改革	平成22年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し
	<p>灘小学校については、通学バスを運行していた市職員の減員により下校便において週4便業務委託したバスで運行したい。</p> <p>南淡中学校については阿万小学校区からの利用者が少なくなってきており、生徒及び保護者の負担軽減と通学の安全性を確保しつつ効率的な運行体系がとれるよう見直しを図っていききたい。</p> <p>また、辰美小学校の通学バスは、平成21年度末には5カ年の長期契約が満了となるため、次期契約更新に向けて準備を進めていきたい。</p>	<p>通学バスの利用対象者及び利用者が減少しているため随時、効率的な運行がおこなえるように見直しを図っていききたい。</p>
(現状維持以外の改善方法)		
改善によって期待される効果	効果(アウトカム)面	効果(アウトカム)面
	コスト面	コスト面
(現状維持の場合も記入)	<b>仮に</b> 事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) 通学バスの運行を廃止することになれば、遠距離通学による本人への身体的負担が多くなり、学習意欲の低減が懸念されるとともに、最近児童生徒に対する凶悪事件が多発しているなか、通学途中における安全性を確保できなくなる。 また、保護者等による送迎も必要となった場合にはその負担が大きすぎる。	